

製品名: HNF-1 β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12128**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	HNF1B
別名	HNF1B; TCF2; Hepatocyte nuclear factor 1-beta; HNF-1-beta; HNF-1B; Homeoprotein LFB3; Transcription factor 2; TCF-2; Variant hepatic nuclear factor 1; vHNF1
遺伝子 ID	6928/6928
SwissProt ID	P35680
免疫原	ヒト HNF-1 β の N 末端領域から得られた合成ペプチド。

背景

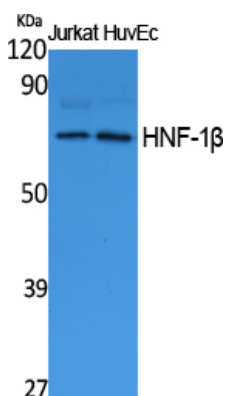
この遺伝子は、ホメオドメイン含有転写因子スーパーファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は、ホモ二量体、

または関連タンパク質である肝細胞核因子 1 α とのヘテロ二量体として DNA に結合します。この遺伝子はネフロン の発生に機能し、胎児期の膀胱の発生を制御することが示されています。この遺伝子の変異は、腎嚢胞および糖尿病症候群、およびインスリン非依存性糖尿病を引き起こし、また、一部の癌種ではこの遺伝子の発現が変化します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2009 年 9 月]、疾患: HNF1B の遺伝子変異は、遺伝性前立腺癌 11 型 (HPC11) の感受性と関連している[MIM:611955]。、疾患: HNF1B の欠陥は、ミューラー管形成不全の原因である[MIM:158330]。軽度糖尿病と重度の非糖尿病性腎疾患を伴う新たな症候群を有するノルウェー人家系において、嚢形成不全と未分化子宮として発現するミューラー管形成不全が、2 人の女性に認められた。これらの知見は、これまで認識されていたよりも広範囲の臨床症状が HNF1B の欠陥と関連している可能性があることを示唆している。、疾患: HNF1B の欠陥は、若年発症型 5 型糖尿病 (MODY5) [MIM:604284] の原因である。MODY [MIM:606391] は、常染色体優性遺伝、発症年齢 25 歳以下、およびインスリン分泌の一次性欠陥を特徴とする糖尿病の一種である。、疾患: HNF1B の欠陥は、腎嚢胞糖尿病症候群 (RCAD) [MIM:137920] の原因である。若年発症型 5 型糖尿病 (MODY5) または家族性低形成糸球体嚢胞腎 (GCKD) とも呼ばれる。RCAD は常染色体優性疾患であり、(1) 腎臓の異常な発達に起因する非糖尿病性腎疾患と、(2) 糖尿病から構成され、糖尿病は 25 歳未満で発症するケースもあり、若年性成人型糖尿病 (MODY) の診断と一致します。腎臓疾患は非常に多様で、腎嚢胞、糸球体房、異常な腎形成、原始尿細管、不規則な集合管、寡巨大腎症、腎盂肥大、異常な腎杯、小腎、単腎、馬蹄腎、高尿酸血症性腎症などがあります。、疾患:HNF1B の欠陥は、インスリン非依存型 2 型糖尿病 (NIDDM) [MIM:125853] の発症に寄与するまれな遺伝的リスク因子である可能性があります。、機能:転写因子、おそらく逆パロンドローム 5'-GTTAATNATTAAC-3' に結合します。、オンライン情報:肝細胞核因子エントリー、類似性:HNF1 ホメオボックス ファミリーに属します。、類似性:1 つのホメオボックス DNA 結合ドメインを含みます。、サブユニット:二量体として DNA に結合します。HNF1- α とホモ二量体またはヘテロ二量体を形成できる。

研究分野

若年成人発症糖尿病;

画像データ



HNF-1 β ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。